

平成30年度第1回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議 次第

日 時：平成30年6月27日（水）

午後2時から

場 所：教育プラザ 研修棟3階 大会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 平成29年度事業報告について

別冊「わたしたちの社会教育」
資料 1

わたしたちの社会教育 P39～P50

(2) 平成30年度事業計画について

別冊「わたしたちの社会教育」

わたしたちの社会教育 P3～P7

(3) 平成30年度事業評価について

資料 2

4 その他

・高田公園オーレンプラザ市民団体の協働・育成事業について

・新潟県公民館大会について

期日：平成30年7月19日（木）

会場：新潟市江南区文化会館（アスパーク亀田内）

参加される委員には、後日、公民館係から行程表を送付いたします。

・新潟県社会教育研究大会糸魚川大会について

期日：平成30年10月17日（水） 16日（火）に前日準備

会場：ふれあいセンタービーチホールまがたま

5 閉 会

平成29年度 謙信KIDSプロジェクト実績

| | 講座名 | 活動目的 | 回数(回) | 対象学年 | 定員(人) | 申込人数(人) | 参加者数 | 定員に対する充足率(%) | 定員達成 | 延べ参加人数(人) | 参加率(%) (延べ参加人数÷(参加者数×回数)) | 今年度の反省と今後の課題 |
|----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|-------|---------|------|--------------|------|-----------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | しぜんAコース | 海・川・森で思いっきり遊びそこから得られる恵みを実感することや、その恵みを活かした里山の暮らしの良さに触れることを通して、自然と人間の関わりを理解し自らの暮らしをふりかえるきっかけを作る。 | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 72 | 20 | 100% | | 53 | 88.3% | ・より良い学びのため、今年度から予習プリントを用意した。活動前にイメージをふくらませることができ、より気づきの多い体験とより深い学びができたように思う。講座の流れとしては、各自然環境を楽しんでから、最後に里山ウォークラリーで自然環境と暮らしの関わりについて考えるAコースの順番で体験を行うのがスムーズだが、最適な時期に最適な場所で活動することを考えると、Bコースはどうしても逆の順番になってしまい、一番伝えたいことが伝わったかどうかは疑問。学びを深められるよう、導入の仕方、予習プリントの内容等も含め、プログラム内容について詳細に検討し直す必要がある。また悪天候のため十分に屋外で活動できなかった回もあり、予備日を設けてはいるが、1回の活動に2日分人員を確保するのは難しい。予備日を設定せず、雨でも良い学びを得られるような代替プログラムの検討が必要である。また、学んだ内容を普段の生活でさらに深めるため、関連する書籍や上越市内の他の場所を紹介するような復習プリントを用意できると良い。 |
| 2 | しぜんBコース | | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 50 | 20 | 100% | | 55 | 91.7% | |
| 3 | うみ | 上越市の海を会場に、地形・環境・生き物などに関する体験活動を通して、海に対する興味関心を高める。 | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 71 | 20 | 100% | | 54 | 90.0% | ・上越市水族館が建て替え期間であったので、今年度は3回の活動をそれぞれ独立させて、内容を仕組んだ。 ・寺泊水族館は大好評であり、道中も楽しそうであった。サケの遡上の様子も、間近で見学でき、貴重な体験ができた。 ・来年度は新しい上越水族館ができるので、水族館内での講座に戻す |
| 4 | でんしゃAコース | 市内における交通事情について考えるきっかけとして、電車を入り口に興味関心を持たせる。 | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 35 | 20 | 100% | | 52 | 86.7% | ・3月のダイヤ改正、8月の臨時列車発表に影響される。今年度は年度当初の学校配布パンフレットにこの講座で後日の内容変更があり得ることを明記した。来年度も明記が必要。 ・Aコース第2回(7/1)には、出発後に天候による電車の運休があり解散場所を急遽変更し保護者に迎えを要請した。「申込用紙」には現在の「電話番号」に加え「緊急連絡先電話番号」の記載が必要。 ・定員に対しての応募者数が大変多い人気講座であるため、本年度からAとBの2コースとして参加合計数を増やした。今後も鉄道会社などの協力機関と講師、さらに担当者の日程が一層混んでくる。時間の設定や配分等の綿密な打ち合わせが必要であり、鉄道会社等の内部事情に詳しい中村講師の参画が一層重要になる。 |
| 5 | でんしゃBコース | | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 29 | 20 | 100% | | 53 | 88.3% | |
| 6 | しょく | 「上越野菜」について学び、収穫体験を行うことにより、食への関心・興味を育てる。 | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 33 | 20 | 100% | | 53 | 88.3% | ・3回のうち、屋外活動2回、調理実習1回としたことにより、活動にメリハリがあり、子どもたちも毎回楽しく参加することができた。 ・上越野菜に特化した学習を行うことで、地元で生産されている野菜への愛着や知識を高められる内容であり、様々な野菜の見学や収穫体験、調理実習を行うことができてよかった。 ・調理実習する際に補助講師を増員し、子どもの安全管理をしっかりと行えるような体制作りは次年度も継続したい。 |
| 7 | ほしAコース | | 2 | 1年生～3年生 | 20 | 29 | 19 | 95% | × | 37 | 97.4% | |
| 8 | ほしBコース | 天文観察等の体験により天文・宇宙の神秘について学ぶとともに参加者の交流を図る。 | 2 | 1年生～3年生 | 20 | 14 | 10 | 50% | × | 20 | 100.0% | ・今年度は天候に恵まれず、屋外での観察があまりできなかった。2回とも悪天候で観察ができない場合、低学年に可能な学習内容が限られることから、回数も含めた検討が必要。 ・夕飯は、NPO法人まちづくり振興会運営の「ビューヶ岳」にカレーをお願いしている。しかし、保護者アンケートから「値段が高い」という意見が多く、また集金や食事準備等に手間もかかることから、弁当持参も含め検討が必要。(地元施設利用促進から利用していた経緯も含め検討が必要) |
| 9 | ほしCコース | | 2 | 1年生～3年生 | 20 | 12 | 6 | 30% | × | 11 | 91.7% | |
| 10 | ものづくりAコース | ・工作の基本や道具の使い方を学ぶ ・日常生活に役立つ道具の使い方や手業(手技)を学び、使えるようになる(カッター、ノコギリ、ヒモ結びなど) | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 68 | 20 | 100% | | 59 | 98.3% | ・参加者はとても意欲的で、欠席者も少なく、充実した講座であった。 ・ものづくりは、素材は様々だが、一様に「根気よく取り組む」という姿勢を学ぶことが重要と思う。早い・遅い、上手い・下手ではなく、「自分の手でものが作れる」という喜びを感じてもらえるような講座を続けていきたい。 |
| 11 | ものづくりBコース | ・自然材料に触れ、手業(手技)を活かし、使えるものを作り出す喜びを体感する(ワラのこもあみコースター、なべしき、トウガラシ飾りなど) | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 33 | 20 | 100% | | 55 | 91.7% | ・個人作業が多く、「仲間づくり」という場面が少なかったが、1日講座においては、なるべくそのような場を作っていきたいと思う。 |
| 12 | えほん | 上越市内を舞台にしたお話を学ぶ、現地で、その土地に伝わる民話を聞く。お話を聞いたイメージを絵にする。 | 3 | 1年生～3年生 | 25 | 12 | 6 | 24% | × | 15 | 83.3% | ・7名の申込みしかなくしかも欠席者のことも考えると、参加者同士の交流の面から講座の存続は難しい。 ・昔のお話(紙芝居)を聞いて、そのイメージを絵にすることに大きな個人差があり、講座の運営に支障が出ている。 |
| 13 | ゆき(委託) | 上越市の暮らしと切り離せない「雪」について、雪国の生活や雪を活用する体験を通して、興味・関心を持たせる。 | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 25 | 13 | 65% | × | 10 | 25.6% | ・今年度はたかさんの雪に恵まれて雪遊びも余裕を持って活動ができた。 ・「雪」をテーマにしての活動内容で雪国の楽しさを感じてもらった。 ・イワフエツギ等の時期にも重なり欠席者も出て参加人数の少ない回があった。 |
| 14 | そば | 上越の特産「とよむすめ」の栽培から、そば打ちまでの一連の作業を通して、生産者の工夫を学び、収穫と食に感謝する。 | 3 | 1年生～3年生 | 20 | 37 | 20 | 100% | | 50 | 83.3% | ・種まきから食べるまでの一連の活動は、児童の継続的な対象へのかかわりを深め、アンケート結果からも児童にも保護者にも満足度の高い活動を提供できたことがわかる。 ・上越市の自然や社会への関心を高めるためには、個々の活動に加えて興味・関心を深め、広げる工夫が必要で、低学年児童には視覚教材の活用も効果的であった。 ・雨天案の中に天候にかかわらず実施してもよい価値のある内容もあり、食事前の時間を充実させるために開始を30分早くできるか、時間配分や雨天対策と併せてさらに検討を加えたい。 |
| 15 | 縄文(委託) | ・縄文時代のくらしの体験を通して、古代の上越地域の様子、人々の暮らしを知り、歴史への興味や夢を育むきっかけを作る。 ・共通のテーマの下に集まった同年代との交流を図る。 | 4 | 3年生～6年生 | 25 | 29 | 25 | 100% | | 90 | 90.0% | ・事業を受託して2年目ということもあり、あらゆる面でスムーズに実施できた。 ・高学年の子どもが多く、昨年に比して全体的にレベルが高かった。 ・歴史を学んでいない中学年に歴史を教えるのは困難であるが、次年度も各種体験と「ミニ講座」を織り交ぜて取り組むことで、より地域の歴史に興味を持つきっかけづくりをしたい。 ・昨年6年生で参加した子どもが、中学生になってボランティアで参加するなど、今後の活動の好例になる成果があった。 ・第4回目の「縄文まつり」は大変好評だった。その一方で、ボランティアが個々の事業に割かれ、土器焼きの人数が少なく大変だった。 |
| 16 | 古径 | ・上越市出身の日本画家・小林古径の作品や小林古径邸に親しむことを通して、故郷・上越の文化に対する愛着を育む。 ・本格的な日本画を描くことを通して、伝統文化への興味関心を高めるとともに、描くことの楽しさを育む。(題材:上越市の日本画家、小林古径) | 4 | 3年生～6年生 | 13 | 19 | 9 | 69% | × | 33 | 91.7% | ・小林古径の画室という環境に身を置いて日本画を描くという体験を通して、学校では学ぶことができない日本の伝統文化である日本画を学ぶ場を提供できた。 ・参加者には絵を描くことが好きという共通項があり、刺激を与え合いながら「絵を完成させる」目標にむかった成果を作品として確認することができた。 ・当美術館にとっても絵画制作のノウハウ、子供への対応方法など今後に生かせる経験となった。 ・大学連携については役割分担を明確にすることでより内容が充実する可能性を感じた。 |
| 17 | 海 | 日本海に面した上越市が、観光資源、生活の糧として利用している海について学ぶ。海の環境や生物の観察・産業体験、それぞれにかかわる人たちの話等から、海と自分たちの生活とのつながりを考える。 | 3 | 4年生～6年生 | 20 | 39 | 20 | 100% | | 51 | 85.0% | ・活動舞台が「海」であることや、魚を包丁でさばく(活動がある等、安全面を第一にした計画、実践、準備が不可欠である。 ・関係する総合事務所(柿崎・名立)が培ってきた実績や人脈を大切にしたい計画が必要である。 |

| 講座名 | 活動目的 | 回数(回) | 対象学年 | 定員(人) | 申込人数(人) | 参加者数 | 定員に対する充足率(%) | 定員達成 | 延べ参加人数(人) | 参加率(%) (延べ参加者人数÷(参加者数×回数)) | 今年度の反省と今後の課題 | |
|------------------|----------|-------|------|---------|---------|-------|--------------|------|-----------|-------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18 | 交通 | | 3 | 4年生～6年生 | 25 | 17 | 12 | 48% | × | 32 | 88.9% | ・電車への乗車体験や見学に対して、参加児童および保護者から高い満足度が示されている。 ・体験等の活動と、興味関心を深化させる学習の場を充実のため、開始時間を検討するなど時間配分を更に工夫したい。 |
| 19 | 食 | | 3 | 4年生～6年生 | 20 | 26 | 20 | 100% | | 54 | 90.0% | ・「発酵の食文化」について、活動を通じて子どもたちに伝え、興味関心をもたせることができた。 ・今年度、講座が4回から3回になり、みそ以外の発酵食品の学習が1回になったが話題になっている「あま酒」の学習も好評であった。 ・講座の題材だけではなく、昔から伝わる伝統食品(伝統技)にも気づかせる学習内容であった。次年度に継続させる。 |
| 20 | 星 | | 3 | 4年生～6年生 | 20 | 36 | 20 | 100% | | 52 | 86.7% | ・参加費削減のため、今年度から望遠鏡の三脚作りをやめたことから、学習内容の検討に苦慮した。特に天候が悪いと内容が限られることから、学習内容とともに実施回数の検討が必要(3回 2回) ・夕飯は、NPO法人まちづくり振興会運営の「ビュー京ヶ岳」にカレーをお願いしている。しかし、保護者アンケートから「値段が高い」という意見が多く、また集金や食事準備等に手間もかかることから、弁当持参も含め検討が必要。(地元施設利用促進から利用していた経緯も含め検討が必要) |
| 21 | 科学 | | 5 | 4年生～6年生 | 25 | 78 | 25 | 100% | | 100 | 80.0% | ・大掛かりな実験を多用したほうが、参加者が喜ぶと思っていたが、顕微鏡観察などの“地味”な活動でも熱心に取り組む姿が見られ、認識を新たにした1年であった。次年度の活動にこの経験を生かしていきたい。 ・内容を盛り過ぎるきらいがあり、後片付けの時間が確保できないケースがあった。とかく「あれもこれも」となりやすいが、内容を絞り込んで密度の濃い活動にしていきたい。 ・上越科学館は「雪の科学」をテーマとした科学館なので、次年度からは、雪水に関連したテーマも取り込んでいきたい。 |
| 22 | チャレンジ | | 4 | 4年生～6年生 | 20 | 51 | 20 | 100% | | 69 | 86.3% | ・現行の講座運営がベストである。 ・荒天案については、単に「座学」としない工夫が必要である。 ・天候による実施判断については、事前に講師・指導者等と入念な打合せしておく。 ・ほかの講座に比べ、事故が起きやすい内容の講座である。子どもたちの安全を第一に準備と活動を進める。 |
| 23 | 世界の文化 | | 4 | 4年生～6年生 | 25 | 20 | 12 | 48% | × | 42 | 87.5% | ・今回は、全体的に積極的な子どもたちが多かったようだ。講師や留学生にも自分から声をかけたり質問したりするなど、関心の高さがうかがえた。 ・企画する側である私共としては、各国出身のゲストから、その国の文化をはじめゲストの目を通した自国の様子を丁寧に聞き出し、私達自身もそれ以上によく調べをしておくことが何よりも重要であると感じた。そうすることで、子どもたちの目線に立った”子どもたちの中の「当たり前」がぶつかる驚きの”文化の発信ができる実感した。外国人に文化発信をお願いする立場にある私達は、外国人ゲストが「当たり前」と感じていることが、日本の子どもたちにとって「当たり前」でないことを知らせ、ゲストに自信をもって発信してもらえるように伝えること大切だと思う。 ・子どもたちには、自分たちの生活と比較し、外国人の「当たり前」と大きな違いがあることを知ってもらい、いろんな考え方があることやそれぞれの良さも気づいてもらいたいと思う。 ・スタッフとしては、いかにゲストから情報を引き出し、何を子どもたちに紹介するかに腐心した。外国人がゆえに引き出すのに時間がかかった。しかし、今年もゲストが素晴らしい方々だった。 ・来年度は、自分たちの生活だけでなく、地域(上越市)との違いにも焦点を当て、外国との違いから上越市にも意識や興味・関心が及ぶような仕掛けも考えたいと思う。 ・「当たり前」ギャップを乗り越えて、世界を楽しもう!」のようなキャッチフレーズを募集段階で参加人数を増やせないか、考えたい。 ・違って当たり前という「人権」につながる切り口も考えていきたい。 |
| 24 | 義の心 | | 3 | 4年生～6年生 | 25 | 18 | 12 | 48% | × | 32 | 88.9% | ・県外(長野市・千曲市)での活動を進めるにあたっては、入念な事前視察(下見)が欠かせない。 ・屋外での活動が講座の大部分を占めているが、それだけに雨天(荒天)案を入念に練り上げておく必要がある。今年度は、天候に恵まれたので問題は少なかった。 |
| 25 | アウトドア | | 3 | 4年生～6年生 | 20 | 52 | 20 | 100% | | 56 | 93.3% | ・第1回のバウムクーヘン作り及び第3回のキャンプについて、今回の実績時間を考慮して再検討する必要がある。 ・第2回及び第3回は炎天下での活動となることから、参加児童への声かけや目視による体調確認に細心の注意を払う必要がある。 ・本講座は、屋外での活動が中心であり、天候の情報収集に努めるほか、天候急変時の対応についても検討しておく必要がある。 |
| 小計 社会教育課募集分 | | | 78 | | 523 | 905 | 429 | | | 1,188 | 86.8% | |
| 26 | 発明(わくわく) | | 10 | 1年生～3年生 | 24 | 101 | 24 | 100% | | 191 | 79.6% | ・毎回の活動から、材料の特性や道具の使い方をしっかりと身につけ、作品づくりに生かすことができていた。 ・はさみ、カッターなど、ケガをしやすい道具を使うため、今後も参加者の安全確保に努める。 |
| 27 | 発明(はっけん) | | 15 | 4年生～6年生 | 24 | 46 | 24 | 100% | | 317 | 88.1% | ・毎回の活動から、材料の特性や道具の使い方をしっかりと身につけ、作品づくりに生かすことができていた。 ・材料の特性や組み合わせ、ものの動く仕組みなどを理解し、応用した作品作りができた。 ・はさみ、カッターなど、ケガをしやすい道具を使うため、今後も参加者の安全確保に努める。 |
| 28 | 発明(ひらめき) | | 15 | 4年生～6年生 | 24 | 31 | 24 | 100% | | 308 | 85.6% | ・毎回の活動から、材料の特性や道具の使い方をしっかりと身につけ、作品づくりに生かすことができていた。 ・材料の組み合わせやものの動く仕組み、コンピュータプログラムの基礎を理解し、作品づくりに生かすことができた。 ・はさみ、カッターなど、ケガをしやすい道具を使うため、今後も参加者の安全確保に努める。 |
| 小計 上越市少年少女発明クラブ分 | | | | | 72 | 178 | 72 | | | 816 | 85.0% | |
| 計 | | | | | 595 | 1,083 | 501 | | | 2,004 | 86.1% | |

平成 30 年度社会教育事業に係る事業評価について（依頼）

社会教育課

1 実施目的

今年度実施する社会教育事業のうち、社会教育委員・公民館運営審議会委員から意見をいただくことにより、今後の事業運営及び計画等における改善策を図る。

2 評価対象事業

(1) 社会教育係

- ・上越市公民館のつどい

[事業概要]

市内の公民館関係者が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践成果を持ち寄り、交流を深める研修会である。午前は公民館に精通している教授等による講演会、午後は各地区公民館及び分館の実践発表、グループ討議で内容を構成している。

(2) 公民館係

- ・元気の出るふるさと講座（1年目実施区：4区）

[事業概要]

現地学習等で地域の課題や特性を見つめ直しながら、課題解決に向けた取組を実践する3年連続講座である。1年目は地域の課題や特性を知る学習を行い、2年目は解決するための課題を絞り、3年目は課題を解決する取組を実践する。

(3) 生涯学習係

- ・謙信KIDSプロジェクト事業のうち、「でんしゃ」「そば」「海」「交通」の4講座

[事業概要]

青少年の健全育成のため、市内小学生を対象に、ふるさとの人、もの、自然に触れ合う活動や地域における世代間の交流促進、学校外の仲間づくりの推進を図るため、21講座28コース、募集定員597人で実施する。

- ・上越市美術展覧会

[事業概要]

市民の美術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、誰もが生涯学習活動ができるよう支援する。市展入選作品を展示、鑑賞することにより美術への関心を高め、文化振興を図る。日本画、洋画・版画、彫刻・立体造形、工芸・グラフィックデザイン、書道、写真の6部門で、高田公園オーレンプラザ、ミュゼ雪小町を会場に、平成30年9月30日（日）～10月8日（月・祝）の会期で開催する。

3 評価いただく内容

別紙評価シートのとおり。

平成30年度 事業評価対象事業開催日一覧

| | 上越市公民館のつどい | 元気の出るふるさと講座 | 謙信KIDS | 上越市美術展覧会 |
|-----|-----------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| | 社会教育係 | 公民館係 | 生涯学習係 | 生涯学習係 |
| 5月 | | 5/26(土)直江津区 | | |
| 6月 | | 6/16(土)有田区 6/19(火)春日区 6/21(木)高田区 6/30(土)直江津区 | 6/9(土)「でんしゃ」Aコース 6/16(土)「でんしゃ」Bコース 6/16(土)「海」 6/23(土)「交通」 | |
| 7月 | | 7/7(土)有田区 7/10(火)春日区 | 7/7(土)「海」 7/7(土)「でんしゃ」Aコース 7/14(土)「でんしゃ」Bコース 7/21(土)「交通」 7/28(土)「そば」 7/28(土)「海」 | |
| 8月 | | 8/2(木)高田区 8/7(火)春日区 | 8/5(日)「でんしゃ」Aコース 8/19(日)「でんしゃ」Bコース | |
| 9月 | | 9/4(火)春日区 9/8(土)直江津区 9/8(土)有田区 9/20(木)高田区 | 9/23(日)「交通」 | 9/30(日)開場式・表彰式 |
| 10月 | | 10/2(火)春日区 10/6(土)有田区 10/13(土)直江津区 | 10/6(土)「そば」 10/28(日)「そば」 | 10/1(月)～10/8(月・祝) 展覧会会期 |
| 11月 | 11/8(木) 上越市公民館のつどい | 11/1(木)高田区 11/10(土)直江津区 11/10(土)有田区 | | |
| 12月 | | 12/13(火)高田区 | | |

平成30年度 係ごとの事業評価対象事業及び評価内容について

| 担当係 | 事業 | 目的 | 評価の視点 | 評価項目 |
|-------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社会教育係 | 上越市公民館のつどい | 市内の公民館関係者が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践成果を持ち寄り、交流を深める機会を通じて、今後の社会教育・公民館活動を推進する。 | これまで市内の公民館関係者が一堂に会する機会がなかったことから、中央公民館機能を有する高田公園オーレンプラザの開館に伴い、研修及び交流を図る目的で実施している。公民館に係る全国の動向や方向性を学ぶ研修の場となり、かつ、市内の他地区公民館が実施している事業を知り、交流を図る機会となっているかどうか、参加者の視点で評価いただきたいと考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的に対して、活動内容は適切であるか ・目的に対して、講師の選定は適切であるか ・活動時間は適切であるか ・全体の雰囲気、参加者の様子や取り組む姿勢など ・全体を通しての感想及び意見（自由記述欄） |
| 公民館係 | 元気の出るふるさと講座 | 地域が直面する課題や特徴を活かしたまちづくりについて考え、学びあうことで仲間づくりを進めるとともに、地域の課題を解決できる人材（行動する人）を3年連続した講座を通し育成する。 | 他の公民館事業とは異なり、地域の課題解決策の実践等、自ら考え、意見を出し合うことを学習内容としていることから、例年、参加者の確保に苦慮するほか、3年間を通しての参加者が少ない。地域によって参加者の目的意識が、学びのきっかけづくりから地域の課題解決に至るまで幅が広い。しかし、人づくりに向けた社会教育事業の推進が当課の目指す姿であることから、現状の事業内容について市民目線で評価をいただき、地域で活動する人材が育つような講座に向けた改善策を図りたいと考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的に対して、活動内容は適切であるか ・受講時間は適切であるか ・講座全体の雰囲気 ・参加者の様子、取り組む姿勢（受講中の表情など） ・全体を通しての感想及び意見（自由記述欄） |
| 生涯学習係 | 謙信KIDSプロジェクト | 青少年の健全育成を図るため、ふるさとの人、もの、自然にふれあう活動や地域における世代間交流の促進を図る。 | 各地域の資源を生かした体験活動が、学校の枠を超え、子どもたちの交流につながっている。（一定期間がたち、講座数も落ち着いている） 今後も郷土愛を育てる活動や豊かな心を育む活動につなげていくため、現状の事業内容を評価いただくとともに、社会教育の目指す「人づくり・地域づくり」につながっていくために必要な視点としたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的に対して、活動内容は適切であるか ・受講時間は適切であるか ・講座全体の雰囲気 ・参加者の様子、取り組む姿勢（受講中の表情など） ・全体を通しての感想及び意見（自由記述欄） |
| 生涯学習係 | 上越市美術展覧会 | 市民の美術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、誰もが生涯学習活動ができるよう支援する。市展入選作品を展示、鑑賞することにより美術への関心を高め、文化振興を図る。 | 毎年幅広い年齢層の方から作品の応募があり、生涯学習活動の発表の場となっている。また、鑑賞する機会を提供する場でもあることから、より多くの方に来場してもらうようするため、周知方法や会場選定等を検討する必要がある。 現状の事業内容について市民目線で評価をいただき、芸術文化活動のより一層の振興を図りたいと考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期、会期、会場は適当であるか ・発表の場となり、鑑賞する機会となっているか ・会期中の雰囲気や来場者の様子はどうか（開場式や表彰式の雰囲気、鑑賞中の様子や会話など） ・展覧会全体を通しての感想及び意見（自由記述欄） |

平成 30 年度 社会教育事業評価シート（公民館係）

| | | | |
|-----|-------------|-----|--|
| 事業名 | 元気の出るふるさと講座 | 会場名 | |
| 開催日 | | 委員名 | |

評価（ ○：とてもよい △：おおむねよい □：改善する点がある ×：改善すべき）

| | 評価の視点 | 評価 | 評価コメント |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|
| 1 | 目的に対して、活動内容は適切であるか | | |
| 2 | 受講時間は適切であるか | | |
| 3 | 講座全体の雰囲気 | | |
| 4 | 参加者の様子、取り組む姿勢（受講中の表情など） | | |
| 5 | 全体を通しての感想及び意見（自由記述欄） | | |
| | | | |

お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。（FAX、郵送、持参、その場で係に提出のいずれかの方法をお願いします。）
コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

平成 30 年度 社会教育事業評価シート（生涯学習係）

| | | | |
|-----|--------------|-----|--|
| 事業名 | 謙信KIDSプロジェクト | 会場名 | |
| 開催日 | | 委員名 | |

評価（ :とてもよい :おおむねよい :改善する点がある × :改善すべき）

| | 評価の視点 | 評価 | 評価コメント |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|
| 1 | 目的に対して、活動内容は適切であるか | | |
| 2 | 受講時間は適切であるか | | |
| 3 | 講座全体の雰囲気 | | |
| 4 | 参加者の様子、取り組む姿勢（受講中の表情など） | | |
| 5 | 全体を通しての感想及び意見（自由記述欄） | | |
| | | | |

お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。（FAX、郵送、持参、その場で係に提出のいずれかの方法をお願いします。）
コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

平成 30 年度 社会教育事業評価シート（社会教育係）

| | | | |
|-----|---------------------|-----|-------------|
| 事業名 | 上越市公民館のつどい | 会場名 | ユートピアくびき希望館 |
| 開催日 | 平成 30 年 11 月 8 日（木） | 委員名 | |

評価（ ○：とてもよい △：おおむねよい □：改善する点がある ×：改善すべき）

| | 評価の視点 | 評価 | 評価コメント |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|
| 1 | 目的に対して、活動内容は適切であるか | | |
| 2 | 目的に対して、講師の選定は適切であるか | | |
| 3 | 活動時間は適切であるか | | |
| 4 | 全体の雰囲気、参加者の様子や取り組む姿勢など | | |
| 5 | 全体を通しての感想及び意見（自由記述欄） | | |
| | | | |

お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。（FAX、郵送、持参、その場で係に提出のいずれかの方法をお願いします。）
コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

平成 30 年度 社会教育事業評価シート（生涯学習係）

| | | | |
|-----|----------|-----|--|
| 事業名 | 上越市美術展覧会 | 会場名 | |
| 開催日 | | 委員名 | |

評価（ :とてもよい :おおむねよい :改善する点がある × :改善すべき）

| | 評価の視点 | 評価 | 評価コメント |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------|
| 1 | 開催時期、会期、会場は適切であるか | | |
| 2 | 発表の場となり、鑑賞する機会となっているか | | |
| 3 | 会期中の雰囲気や来場者の様子はどうか（開場式や表彰式の雰囲気、鑑賞者の様子や会話など） | | |
| 4 | 展覧会全体を通しての感想及び意見（自由記述欄） | | |
| | | | |

お手数ですが、記入後社会教育係へシートを提出ください。（FAX、郵送、持参、その場で係に提出のいずれかの方法をお願いします。）
コメントは、該当欄に収まる程度の量で結構です。

平成30年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)

地域を知り、地域の課題を把握する講座(地域の活動団体紹介、地域めぐり、地域の課題を把握)

| 1年目 | テーマ | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 担当 |
|------|-----------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------|-----------------|---------------------------------------------|----|
| 高田区 | 地域の特色や地域の活動団体の取り組みを学ぶ | 地域の歴史や文化、自然など地域学習を中心に行い、地域の魅力を再発見することで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 | 6月21日(木) 9:30～11:30 | 高田地区公民館 | 高田区の歴史や文化などを学ぶ。 | 池亀 |
| | | | 8月2日(木) 9:30～11:30 | 高田地区公民館 | 高田区の歴史や文化などを学ぶ。 | |
| | | | 9月20日(木) 9:00～11:00 | 高田地区公民館 | 【現地見学】 高田区を巡り、地域の魅力を発見する。 | 丸田 |
| | | | 11月1日(木) 9:00～11:00 | 高田地区公民館 | 【現地見学】 高田区を巡り、地域の魅力を発見する。 | |
| | | | 12月13日(火) 9:30～11:30 | 高田地区公民館 | 活動を振り返り、今後どのように生かせるか話し合いを行う。 | |
| 春日区 | 地域の特色や地域の活動団体の取り組みを学ぶ | 地域の魅力を再認識し、今後地域活性化に向けた取組について、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 | 6月19日(火) 9:30～11:00 | 春日地区公民館 | 春日地区の歴史(旧春日村、春日山城址等)について学ぶ。 | 片所 |
| | | | 7月10日(火) 9:00～11:30 | 春日地区公民館 | 【現地見学】 春日神社や林泉寺を巡り、謙信公について学ぶ。 | |
| | | | 8月7日(火) 9:30～11:00 | 春日地区公民館 | 春日山城址の整備等に取り組んでいる団体等の活動について学ぶ。 | 丸山 |
| | | | 9月4日(火) 9:00～11:30 | 春日地区公民館 | 各種団体の話を聞き、活動の取り組みを学ぶ。 | |
| | | | 10月2日(火) 9:30～11:00 | 春日地区公民館 | 活動を振り返り、今後どのように生かせるか話し合いを行う。 | |
| 直江津区 | 地域の特色や地域の活動団体の取り組みを学ぶ | 地域の歴史や史跡を学ぶほか、過去の災害や現在の防災対策について学ぶことで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 | 5月26日(土) 9:30～11:30 | 直江津地区公民館 | 交通拠点として発達した直江津について学ぶ。 | 丸田 |
| | | | 6月30日(土) 9:30～11:30 | 直江津地区公民館 | 【現地見学】 直江津や五智に点在する文学碑を巡り、その内容について学ぶ。 | |
| | | | 9月8日(土) 9:30～11:30 | 直江津地区公民館 | 近代以降に賑わい栄えた直江津の様子について学ぶ。 | 池亀 |
| | | | 10月13日(土) 9:30～11:30 | 直江津地区公民館 | 【現地見学】 地理から見る直江津や五智の災害や防災対策について学ぶ。 | |
| | | | 11月10日(土) 9:30～11:30 | 直江津地区公民館 | 活動を振り返り、今後どのように生かせるか話し合いを行う。 | |
| 有田区 | 地域の特色や地域の活動団体の取り組みを学ぶ | 地域の歴史を学ぶほか、各小中学校や各活動団体との関わりを再認識することで、住民の意識統一を図ることができるよう促す。 | 6月16日(土) 9:30～11:30 | 有田地区公民館 | 各小学校の歴史や中学校と地域の取組について学ぶ。 | 丸田 |
| | | | 7月7日(土) 9:30～11:30 | 有田地区公民館 | 保倉川の増水など、町内会の防災対策について学ぶ。 | |
| | | | 9月8日(土) 9:30～11:30 | 有田地区公民館 | 高齢者サロンの取り組みを学ぶ。 | 池亀 |
| | | | 10月6日(土) 9:30～11:30 | 有田地区公民館 | 【現地見学】 史跡散歩地図を用いて、有田地区の町内会名やそれまつわる歴史を学ぶ。 | |
| | | | 11月10日(土) 9:30～11:30 | 有田地区公民館 | 航空写真から有田の移り変わりを学ぶ。次年度について意見交換を行う。 | |

平成30年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)

地域の課題解決に向けた活動を考える講座(先進地視察、活動に必要な学び、活動実践に向けた講座の検討)

| 2年目 | テーマ | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 担当 |
|------|-----------------------------|------------------------------------------|-------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------|----|
| 八千浦区 | 地域の特色を学び、 地域活性化について考える。 | 地域の特色について理解を深め、地域活性化につながる方法を考える。 | 6月14日(木) 9:30～正午 | 八千浦地区公民館 | 【現地見学】 八千浦区のお寺や神社を巡り、昨年度の活動をまとめる。 | 片所 |
| | | | 8月23日(木) 9:30～11:00 | 八千浦地区公民館 | 製塩について学ぶ。 | |
| | | | 9月20日(木) 9:30～正午 | 八千浦地区公民館 | 【現地見学】 古民具から昔の生活について学ぶ。 | 丸山 |
| | | | 11月15日(木) 9:30～11:30 | 八千浦地区公民館 | 3年目に向けた活動を行う。(意見交換又は学習) | |
| | | | 12月6日(木) 9:30～11:30 | 八千浦地区公民館 | 一年の活動を振り返り、今後どのように生かせるか意見交換を行う。 | |
| 三郷区 | 地域の歴史を学び、 魅力を発信する方法を考える。 | 地域の歴史について理解を深め、若い世代へ歴史を伝承していくための方策を話し合う。 | 6月27日(水) 9:30～11:30 | 三郷地区公民館 | 三郷地区の歴史・史跡の名所について話を聞く。 | 丸山 |
| | | | 7月6日(金) 9:30～正午 | 三郷地区公民館 | 【現地見学】 三郷区の神社や史跡を訪れ、歴史を学ぶ。 | |
| | | | 7月25日(水) 9:30～11:30 | 三郷地区公民館 | 近隣地区で歴史に関する活動を行っている団体の話(設立の経緯や活動事例)を聞くとともに、元気の出るふるさと講座の実践事例を学ぶ。 | 片所 |
| | | | 8月29日(水) 9:30～正午 | 三郷地区公民館 | 上越の偉人である芳澤謙吉翁にまつわる講演や施設見学を行い、他地区の事例を学ぶ。 | |
| | | | 10月3日(水) 9:30～11:00 | 三郷地区公民館 | 2年目の活動を振り返り、次年度に向けた活動について話し合う。 | |
| 和田区 | 地域の特色を学び、 地域活性化について考える。 | 地域の歴史や交通網について理解を深め、今後の地域のあり方を考える。 | 7月19日(木) 9:30～11:30 | 和田地区公民館 | 北国街道や小作騒動などから和田区の歴史を学ぶ。 | 池亀 |
| | | | 8月30日(木) 9:30～11:30 | 和田地区公民館 | 鉄道や新幹線と和田区の関わりについて学ぶ。 | |
| | | | 11月15日(木) 9:30～11:30 | 和田地区公民館 | これからの和田区の活性化に向けての取組みを学ぶ。 | 丸田 |
| | | | 12月6日(木) 9:30～11:30 | 和田地区公民館 | 2年目の活動のまとめと和田区の魅力について意見交換を行う。 | |
| | | | 12月20日(木) 9:30～11:30 | 和田地区公民館 | 次年度の活動内容について話し合う。 | |
| 新道区 | 地域資源を学び、 魅力を発信する方法を考える。 | 地域の見どころについて理解を深め、次世代へ伝えていく方策について話し合う。 | 5月31日(木) 9:30～11:30 | 新道地区公民館 | 現地見学したい、新道のお宝についてグループワークで話し合う。 | 丸山 |
| | | | 6月14日(木) 9:30～11:30 | 新道地区公民館 | 「稲田祇園祭」の取組みを学ぶ。 | |
| | | | 7月5日(木) 9:00～正午 | 新道地区公民館 | 【現地見学】 「新道区のあゆみ」をもとに、現地見学を行う。 | 片所 |
| | | | 8月23日(木) 9:00～14:00 | 新道地区公民館 | 【現地見学】 元気の出るふるさと講座から自主グループ化した団体の取組みを学び、交流する。 | |
| | | | 10月4日(木) 9:30～11:30 | 新道地区公民館 | 次世代に伝えたい宝について、意見交換を行い、次年度の内容を協議する。 | |

平成30年度 元気の出るふるさと講座(行動する人づくり)

2年目の計画に基づき、活動に必要な学び、活動を実践する講座(活動を実践するための準備、活動の実践、活動のふりかえり)

| 3年目 | テーマ | ねらい | 開催日時 | 開催場所 または集合場所 | 活動内容 | 担当 |
|------|---------------|----------------------------------------------------------|-------------------------|-----------------|------------------------------------------------|----------|
| 津有区 | 地域の文化遺産を発信する。 | 「津有の里文化遺産めぐり」に掲載されていない、史跡や遺産を再発掘し、マップを作成することで子どもや地域へ伝える。 | 6月27日(水) 9:30～11:30 | 津有地区公民館 | 「津有の里文化遺産めぐり」に掲載されていない地域の文化遺産を学び、マップのテーマを決定する。 | 丸田 池亀 |
| | | | 7月11日(水) 9:30～11:30 | 津有地区公民館 | 史跡等の現地見学を行い、マップ作成に必要な材料を集める。 | |
| | | | 7月25日(水) 9:30～11:30 | 津有地区公民館 | マップ作成を行う。 | |
| | | | 8月22日(水) 9:30～11:30 | 津有地区公民館 | マップ作成を行う。 | |
| | | | 9月12日(水) 9:30～11:30 | 津有地区公民館 | マップを完成させ、活用方法について考える。 | |
| 北諏訪区 | 地域の魅力を発信する。 | 町内の紹介をするポスターを作成し、地域の良さを子どもや地域に伝える。 | 6月15日(金) 9:00～11:30 | 北諏訪地区公民館 | 各町内で紹介するポイントを話し合い、ポスターに掲載する内容を検討する。 | 池亀 丸田 |
| | | | 7月13日(金) 9:00～11:30 | 北諏訪地区公民館 | 【現地見学】 第一回目で決めたポイントの現地確認を行う。 | |
| | | | 9月21日(金) 9:00～11:30 | 北諏訪地区公民館 | ポスターづくりを行う。 | |
| | | | 9月28日(金) 9:00～11:30 | 北諏訪地区公民館 | ポスターづくりを行う。 | |
| | | | 10月21日(日) 9:30～15:00 | 北諏訪小学校 | 小学校の文化祭で活動の成果発表を行う。 | |
| | | | 11月未定(金) 9:00～11:30 | 北諏訪地区公民館 | 活動のふりかえりを行う。 | |
| 大湊区 | 地域の魅力を発信する。 | ガイドシナリオの作成を通して、日本音楽教育の母である「小山作之助先生」ボランティアガイドの育成を目指す。 | 6月13日(水) 9:30～11:30 | 大湊地区公民館 | 小山作之助にまつわる見どころを話し合い、ガイドポイントを決定する。 | 片所 丸山 |
| | | | 7月4日(水) 9:30～11:30 | 大湊地区公民館 | 担当となったガイドポイントについて、知識を深め、ガイドシナリオ作成につなげる。 | |
| | | | 9月1日(土) 9:30～11:30 | 大湊地区公民館 | 第2回の学習をより深め、ガイドシナリオを作成する。 | |
| | | | 10月3日(水) 9:30～11:30 | 大湊地区公民館 | ガイドシナリオを完成させ、受講者同士でガイドの実演練習をする。 | |
| | | | 10月18日(木) 9:30～正午 | 大湊地区公民館 | 公民館講座「頸北探訪大湊編」の受講者を対象に、実際にガイドを実践する。 | |
| 頸城区 | 地域の観光資源を発信する。 | 見どころの案内シートを作成し、地区内の観光や見学の場でPRを実践する。 | 5月26日(土) 9:30～11:30 | 頸城区公民館 | これまでの活動を振り返り、第2回以降の活動方針について話し合う。 | 片所 丸山 |
| | | | 6月30日(土) 9:30～11:30 | 頸城区公民館 | 案内シートを作成する。(必要に応じて現地見学) | |
| | | | 8月25日(土) 9:30～11:30 | 頸城区公民館 | 案内シートを作成する。(必要に応じて現地見学) | |
| | | | 10月13日(土) 9:30～11:30 | 頸城区公民館 | 案内シートを完成させる。 | |
| | | | 11月10日(土) 9:30～11:30 | 頸城区公民館 | 成果品を活用する。(活用方法は検討中) | |

高田公園オーレンプラザ

市民団体の協働・育成事業 活動団体応募要領

1 募集の趣旨

高田公園オーレンプラザ(以下、「オーレンプラザ」という。)が社会教育施設の一つとして、市民文化団体の育成と市民の文化活動の広がりを進めるため、市民文化団体との協働を促進し、ホール施設を中心とした活用推進とにぎわいの創出を図ることを目的として、オーレンプラザの市民団体の育成・協働事業の活動団体(以下、「活動団体」という。)を募集します。

活動団体は、別紙の審査基準に基づき、選定委員会におけるヒアリングを経て、選考します。

2 協働・育成事業の概要

オーレンプラザは、スタジオやホールの舞台を定期的に使用する活動団体に対し、練習のための十分な環境を提供するとともに、その活動を支援し、活動団体を育成します。

活動団体は、ホールを中心とした事業の企画・実施や、ロビーでのミニコンサートの開催など、オーレンプラザの賑わい創出に協力します。

活動団体に認定された場合には、オーレンプラザは以下の支援を行います。

(1) 練習のための十分な環境の提供

- ・大型楽器などの保管場所を提供します

(2) 安価な利用料金の設定

- ・ホールの舞台、スタジオの1回4時間までの利用料金を1回1時間の料金とします
- ・ホールの備品使用料を1回、一括で500円とします

(3) 団体活動室の利用

- ・他の方がホールを利用していない時には、団体活動室が利用できます

活動団体の認定期間は3年間とします。

活動団体は3~4団体の認定を予定しています(5月26日追記)

3 活動団体の応募資格

活動団体に応募できる団体は、次の要件をすべて満たす団体とします。

(1) 上越市内の市民団体であること

(2) オーレンプラザの定期利用団体であること

(3) 代表者や団体の会員が、暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に属すると認められる者ではないこと

4 活動団体の応募手続等

活動団体の認定を希望する団体は、次のとおり、企画書等を提出するものとする。

(様式は任意。提出先は、後記「6 問合せ及び提出先」のとおり)

(1) 市民団体の基本情報

- ・団体名
- ・住所
- ・代表者名

- ・規約、総会等の資料
（予算、決算等を表す書類。会員募集、脱退にあたっての考え方等を含めること）
- ・会員数・会員名簿（名前のみ。住所、連絡先等は不要）
- ・本応募書類についての連絡担当者及びその連絡先（住所、電話番号、e-mail）
- （2）団体の主な活動内容
 - ・活動内容の概要
 - ・これまでの主な活動実績、定期的な発表会等の時期、内容
（入場料などを取っているのであればその金額等を含めること）
 - ・オーレンプラザでの利用状況及び活動内容
- （3）賑わい創出の企画案
 - ・オーレンプラザにおける賑わい創出の企画案
 - ・上記企画案における貴団体の貢献の方法
 - ・上記企画案の大まかなスケジュール（平成30年7月～平成34年3月）
 - ・企画案の実現にかかる概算費用及びそれを誰が負担するかの経費区分
- （4）その他
 - ・提出部数 3部
 - ・提出期限 平成30年6月22日（金）17時（必着）
 - ・提出方法 持参又は郵送（提出期限内必着に限る。）で提出のこと
 - ・その他 提出書類の作成及び提出に要する費用は、全て提出団体の負担とし、提出された書類は全て返却しない。

5 活動団体の選考手続き、スケジュール等

活動団体の選考手続きやスケジュール等は、次のとおり。

- （1）基本的な考え方
 - ・活動団体の認定に当たっては、オーレンプラザの賑わい創出に貢献できる団体を選考するため、選考委員会（公民館運営審議会委員により組織）により認定団体を選考するものとする。
- （2）選考方法
 - ・選定委員会において、提出された企画書等の内容に対し、別紙「書類選考 審査基準」に基づき、書類選考を行う。
 - ・書類選考結果、点数の上位6団体について、選定委員会がヒアリングを行い、合議による審査で活動団体を選考する。
- （3）選考結果の通知
 - ・選考の結果については、選考終了後速やかに書面で通知するものとする。
 - ・選考結果に対する書類審査の合計点、順位以外の評価内容の開示請求には応じない。
- （4）スケジュール（予定であり変更する場合がある）
 - ・企画書提出期限 平成30年6月22日（金）17時（必着）
 - ・書類審査 6月下旬に実施し、7月上旬に結果を連絡する予定。
 - ・選考ヒアリング 7月中旬を予定
（後日、対象者に日時・会場を連絡する）
 - ・活動団体認定・支援開始 7月17日（月）を予定

6 問合せ及び提出先

〒943 - 0835

上越市本城町8番1号

上越市 市民交流施設 高田公園オーレンプラザ 担当:(伊藤)

電話:025-525-1311

FAX:025-525-1312

メール:aurenplaza@city.joetsu.lg.jp

高田公園オーレンプラザ

市民団体の協働・育成事業の活動団体

書類選考 審査基準

| 審査基準 | 配点 | | 審査の視点 |
|------------------------|------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 提案事業の 企画力・事業内容 | 40点 | 10点 | オーレンプラザに多くの市民が気軽に立ち寄り、くつろげるような企画であるか |
| | | 15点 | 高田地区近隣の市民だけでなく、他地区の市民とも交流が進むような企画であるか |
| | | 15点 | オーレンプラザでの市民活動に自らが参加し、仲間づくりに加わろうとする企画であるか、あるいは自らは参加できないがその支援者となりうる企画であるか (市民団体同士の交流によりオーレンプラザに賑わいを創出する規格であるか) |
| 施設の 利用頻度 (実績・見込) | 30点 | 15点 | 原則週1回、年間を通じて月平均3回以上オーレンプラザのスタジオや舞台を利用している、もしくは利用の見込みがあるか(ホームグラウンドとして利用されているか) |
| | | 15点 | 年2回以上、オーレンプラザまたは市の公の施設において、不特定の市民向けの演奏会などの文化的貢献を無償または低廉な入場料金で行っているか |
| 団体の 事業実績、妥当性 | 30点 | 10点 | 概ね30人以上の会員が活動している市民活動団体であるか(ホールやスタジオでないと活動できない団体の規模であるか) |
| | | 10点 | 規約や予算など計画的かつ民主的に活動がなされているか |
| | | 10点 | 団体への加入・脱退について特に制限がないか |
| 合計 | 100点 | | |